



民児協 ぬくもり

No.20

【発行日】
令和8年3月19日

【発行】
笠間市連合民生委員
児童委員協議会

【編集】
広報委員会

民児協とは、民生委員児童委員協議会の略称です。



日動美術館にて

横木守氏撮影

スローガン

支えあう 住みよい社会 地域から

昨年12月1日に民生委員・児童委員の一斉改選がありました。
各委員を地区版でお知らせいたします。



ごあいさつ
 笠間市連合民児協
 会長 稲野邊 直子

地域の方との交流を通して

「いつも気にかけてくれてありがとうございます。また来てね」
 民生委員2期目を迎える私の励みになってる言葉です。

引き受けた当初は、地域のこともよく知らず、どう関わりをもてばよいのか不安だらけでした。でも、地域の行事に積極的に参加したり、地域活動「サロン」の運営に携わったりする中で、地域の方々と顔見知りになることができました。そのおかげで、困りごとや悩みなどを気軽に打ち明けてくれるようにもなり、それが解決できた時に見せてくださるほっとした笑顔も、やりがいにつながっています。

また、こども食堂のボランティア

民生委員・児童委員の地域活動について

民生委員・児童委員になって、6年目になりました。その間さまざまな経験も、たくさんさせていただきました。

一人暮らしの高齢者の方々を中心に、訪問活動をしてまいりました。初めての訪問時には、かなりのエネルギーを要しました。また担当している地区の高齢者も、多くなってきました。

ある時、同じ地区内の一人暮らしの高齢者から、ポストの中に新聞が入ったままなので、様子を見に行つてほしいと言われ、私は急いで行って声かけをしました。中から返事はなかったのですが、庭の方を見て草



ごあいさつ
 笠間市長 山口 伸樹

やわらかな日ざしが日一日と暖かさを増す頃となりました。

昨年12月の一斉改選により、笠間市連合民生委員児童委員協議会会長を拝命いたしました。私たち委員は、民生委員児童委員信条に基づいて活動しております。定例会・研修会において研鑽を積み、地域の方々の抱えている課題を行政につなげるという大切な役目を担っております。多様化する社会の中で「ひとりも見逃さない」という思いを胸に、平時においては、訪問活動を

こども食堂「たんぼ」

平成29年の春、友部民児協に、こども食堂の運営を促すチラシが、回覧されました。「やってみようよ」と数人が集まり開催の準備を始めました。

まず、協賛者を募り、資金の調達をしました。そして、開催場所を集まりやすい地域交流センター「トモア」に決め、7月にプレオープンに向け、準備を進めました。

8月から第1・3木曜日に、地域の一人暮らしの方や、子どもたちが集まり「みんなで楽しく食事を」をモットーに、開店しました。

運営をしていくなかで、「子どもだけでは食べに来ることができない」「小・中学生に無料で提供する」



「物価高」などいろいろな問題にぶつかると、ゆるやかに取り組みました。

笠間市内外の皆様や、団体、企業から多くのご寄附を頂き、季節感を大切に、子どもたちの「おいしかったよ」の声を大きな喜びに感じ、次回は子どもたちが喜ぶ唐揚げにしようなどと、スタッフ一同楽しく活動しています。

「いらっしゃい」「いただきます」の声が飛び交い、こども食堂「たんぼ」開店です。

これからも課題が出てゆるやかに解決しながら、長く続けていきたいと思っています。

日頃の民生委員・児童委員の活動からあなたのそばで…

民生委員としての活動

私は民生委員を任命された時「住民の身近な相談相手」という仕事ができるか、とても重責で不安でした。

民生委員活動の一番大きな仕事が見守り支援活動です。なかなか訪問してもお会いできなかったため、先輩の民生委員の方に相談しました。すると、お店とか近所でお会いして声をかけたら、それも見守り活動だから「大丈夫よ」と励まされました。

翌年にはコロナにより地域活動が制限されました。一人暮らしの支援者の方から、話し相手もなく困っていると相談を受け、民生委員として、どこまで支援してあげれば良いか、迷いました。そこで、事務局に相談



最近、私の担当地区では見守り支援対象の方が施設に入所されたり、一人暮らしの世帯が増えたりしています。民生委員として、変わっていく時代の中で、支援対象者に寄り添った活動ができるように心がけていきたいと思っています。

また、民生委員として、さまざまな研修活動に参加させていただき、貴重な経験となりました。今後の民生委員活動に生かしていきたいと思っています。



早春の候、皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

民生委員・児童委員の皆様には、日頃から社会福祉の向上に多大なご支援とご協力を賜り、また、一斉改選により、150人の皆様に就任をいただいたことに対しまして、厚く御礼申し上げます。

現在、少子高齢化の進展、ライフスタイルの変化などを背景に、核家族化や単身世帯の増加に伴い、地域における住民関係の希薄化、また、8050問題やひきこもりといった複雑化・複合化する課題に直面しております。このような中、

市民にとって最も身近な相談相手、そして行政との架け橋でもある、委員の皆さまの役割は、一層大きくなってまいります。本年、令和8年は、茨城県に民生委員制度が設立されてから、100年の節目となります。行政といたしましても、これまで以上に、委員の皆さまの活動を全力でサポートしてまいりますので、引き続きお力添えをお願い申し上げます。

結びに、笠間市民生委員児童委員協議会のますますの発展と、委員の皆様のご健勝とご多幸を心よりご祈念申し上げます。

笠間地区 複合施設を見学して

笠間地区民児協の全体研修が10月22・23日1泊2日の日程で行われました。参加したのは26人。一行は静岡県伊豆市の社会福祉法人春風会ふらっと月ヶ瀬を視察しました。

天城デイサービス・こども園・就労支援施設プラム・プラムカフェで構成された複合施設です。1年を通じて子どもたちや知的障がい者、デイサービスを利用するお年寄りたちが運動会や夏まつり、敬老会などの交流を活発に行っています。

施設は中庭を中心にこども園、デイサービス施設、就労支援施設が円を描くように建てられています。視察した日は、中庭に子どもたちの元気な声が響き、デイサービス施設ではお年寄りたちが趣味の絵を描き、就労支援施設では障がいを持つ方が黙々と作業に取り組んでいました。

施設の担当者は、「ともによるこび・ともにかんがえ・ともに生きる」を基本に、地域に根ざした垣根のない福祉を目指していると話していました。



友部地区 日本盲導犬総合センターを見学して

友部地区民生委員児童委員による県外研修を5月26・27日に行いました。視察先は、国家公安委員会からの認可を受けている盲導犬の訓練施設で、富士宮市にある日本盲導犬総合センター盲導犬の里富士ハーネスです。初めに視覚障害者が盲導犬と生活している様子をビデオで見せてもらい、続けてハーネスをつけた訓練中の犬のデモンストレーションを見学しました。

施設内には分婉室、子犬の運動訓練棟、引退犬棟があり、墓地・慰霊碑もありました。2002年5月に身障者補助犬法が公布され、盲導犬同伴での施設の利用が法律で認められました。しかし、まだ法律を知らない人がいるので入店を断られることもあるようです。

全国で盲導犬は78頭、ユーザー27万人、必要としている方がいても盲導犬一頭が誕生するまでには、多くの人と時間が必要です。訓練しても盲導犬になれるのは4割程度、数が増えない理由の一つになつていくようです。

笠間市内で盲導犬を見かける機会がないのですが、盲導犬を支えるいろいろなボランティアがあるようです。近くのお店などで、ブラドール募金箱を見かけたら応援してほしいと思います。

岩間地区 国立ハンセン病療養所 栗生楽泉園を見学して

岩間地区民児協による県外研修を10月22・23日に行いました。視察先は群馬県我妻郡草津町に在るハンセン病患者さんの療養を目的とした「栗生楽泉園」です。

ハンセン病とは「らい菌」に感染することで起こる病気で、感染すると手足の末しよう神経が麻痺し、汗が出なくなったり、痛い、熱い、冷たいなどの感覚がなくなり皮膚に様々な病的な変化が起き、後遺症が残ることもあります。かつては「らい病」と呼ばれ、江戸時代頃はコレラやペストと同じような恐ろしい伝染病と思われていました。

全国には、14カ所施設が在り、その中でも草津温泉は古くからハンセン病に効果があるとされ、多くの患者が訪れ、病健混浴となつていて集落も作られていました。衛生管理の高まりから患者を強制的に収容し療養所から一生出られなくする「ハンセン病絶滅政策」により、上信越国立公園内標高1100mの高台に昭和7年(1932年)草津温泉の湯を引き込み、集団移転を受け入れるための広大な施設が造られました。ピーク時は、千人を超えた患者やその家族が収容されました。

療養所とは名ばかりで、反抗すれば「特別病棟」という重監房へ入れられ、極寒の中、食事のままならず、多くの僚友が亡くなりました。

平成8年(1996年)「らい予防法」が廃止され、患者隔離政策に終止符が打たれ、国は施設入居者や社会復帰者にお詫びし、政策を改めました。しかし世間の偏見や差別は消えませんでした。人としての尊厳を踏みじられたその深い悲しみと怒り、私たちには想像を絶するものがありました。相手の人権を尊重し合う社会を作りたい努力が必要と痛感した研修旅行でした。





友部地区

令和8年3月1日現在

民生委員・児童委員、主任児童委員

地域の相談相手・行政とのパイプ役 よろしくお願いたします。

宍戸小学区

上町、中町、下町、星山
担当区域



小菅栄子
77-3400
宍戸支部(再任)

橋爪1・2、下加賀田、
矢野下上郷



大根法子
77-7704
宍戸支部(再任)

南小泉1・2・3



角田行男
78-3895
宍戸支部(再任)

大古山、ひばりヶ丘団地、
ベリオコリナ会



大槻りょう
77-6331
宍戸支部(再任)

旧陣屋1・2、小人町



来川容子
77-5494
宍戸支部(再任)

旧陣屋3・八幡下



来川美和
77-0914
宍戸支部(再任)

大田町1



仲野よし子
77-6982
宍戸支部(再任)

大田町2、八反山



村上元子
77-1083
宍戸支部(再任)

松山団地1・2



磯部佐智恵
77-7801
宍戸支部(再任)

松山団地3、県営松山ア
パート、松山南団地



中里真理子
77-4536
宍戸支部(再任)

友部小学区

担当区域

原店1・2



橋本正男
090-2214-5589
東支部(再任)

宿1・2、久保、古山



白土昌夫
77-5361
東支部(再任)

宮前1・2



滝本はじめ
77-6461
東支部(再任)

鴻巣1



小松崎進
77-2814
東支部(新任)

鴻巣2、県営友部ア
パート、
こうのす団地



青木とみ子
77-7677
東支部(再任)

東町1・2、仲町



白井恭子
090-4734-2331
中央支部(再任)

東町3・4



伊橋理代
77-2473
中央支部(再任)

西町1・2、南町



神崎昭子
090-3348-1933
中央支部(新任)

桜町、友部栄町



高野康司
77-7107
中央支部(再任)

幸町、大沢中1・2



中村京子
78-4508
中央支部(新任)



旭団地、西協、長野、
グリーンウッド
布施谷 智恵美
77-2827
北川根支部(再任)



旭丘団地、住吉団地、
みどり野団地
横 木 守
77-3951
北川根支部(再任)

北川根小学区



旭平2、旭平団地、
緑ヶ丘団地
齋 藤 清
77-1214
大旭支部(再任)



旭平1、サンステージ
軍 司 行 男
090-6796-5821
大旭支部(再任)



青葉町
笹 目 收
78-4514
中央支部(新任)



大沢中3、美原団地
高 田 真 弓
77-8207
中央支部(再任)



緑町1・2・3
田 口 博
77-1275
中央支部(再任)



当の越1・2
塩 畑 真 紀 子
77-1229
中央支部(再任)



住吉新宿、湯崎、田向
古 山 均
77-5061
北川根支部(再任)



住吉新宿、百合
野 口 節 子
78-0139
北川根支部(再任)



石沢、長兎路全区
打 越 安 洋
78-0159
北川根支部(再任)



睦団地、西原、西原住宅班、
コンフォートタウン西原
澤 正 博
77-8708
北川根支部(新任)



柿橋団地、東ヶ丘
中 山 務
77-1882
東支部(再任)



柿橋北
森 よし江
77-7349
東支部(再任)



柿橋東・南
大 内 勉
77-6927
東支部(再任)



柿橋西・中
武 藤 千 秋
77-7943
東支部(再任)



上市原1・2
中 庭 栄 一
77-3290
大原支部(再任)



下市原、中市原
担 当 区 域
垣 恵 美 子
77-3349
大原支部(新任)

大原小学区



随分附本郷・笠松、東原
北 村 陽 子
77-4482
北川根支部(新任)



柏井、柏井団地、旭丘、
仁古田全区、南ヶ丘団地
枝 川 良 雄
77-0948
北川根支部(再任)



友部第二小学区
担 当 区 域
若狭山団地、清住町
米 川 健 一
77-4548
大旭支部(再任)



富士町
伊 藤 重 男
77-6123
東支部(再任)



内郷、西内郷、
飯田1・2・3
藤 枝 和 也
78-0795
東支部(再任)



西飯田
大 畠 正 子
77-6980
東支部(再任)



館古宿、本内、原坪、筒埜
須 藤 敏 夫
090-8809-6250
大原支部(再任)



香取、久保下寺、新宿、
小原団地
長 谷 川 道 夫
77-2519
大原支部(再任)



滝川1・2
友 部 順 子
77-2794
大原支部(再任)



旭台、アクシズタワー旭台
寺 門 常 康
73-4113
大旭支部(再任)



大沢下2
菊 池 美 智 子
77-4460
大旭支部(再任)



大沢下1
相 澤 博 美
77-7511
大旭支部(再任)



八幡台第1・第2
深 澤 美 穂 子
77-0989
大旭支部(再任)



友部地区全域
菊 島 陽 子
77-9017
(新任)



友部地区全域
米 田 智 子
77-4479
(新任)



友部地区全域
担 当 区 域
主任児童委員
海 老 澤 佐 賀 恵
77-4715
(再任)



旭台団地1・2・3・4
塩 田 真 人
77-4829
大旭支部(新任)



大沢上3
成 田 恵 子
77-7962
大旭支部(再任)



大沢上1・2
後 藤 政 見
77-8932
大旭支部(再任)



旭崎1・2、原団地
片 野 敏 文
77-3821
大旭支部(新任)

- 5月
 - ・社会調査（5月～9月）
 - 見守り対象者のお宅に訪問し近況確認
 - ・民生委員・児童委員の日
- 8月
 - ・笠間市戦没者追悼式に参列
- 9月
 - ・各会場の敬老会に参加及び協力
- 10月
 - ・「赤い羽根共同募金」の募金活動に協力
 - ・児童虐待防止啓発活動
 - ふるさとまつりにてオレンジリボンマーク付ティッシュを配布
- 11月
 - ・災害ボランティアセンター運営訓練に協力
 - ・オレンジリボン（児童虐待防止を指す市民運動）とパープルリボン（女性に対する暴力根絶を目的とした国際的な運動）イベントに参加協力
- 12月
 - ・一斉改選（1日付）
 - ・市社協友部支所「歳末支援金」事業に協力
- 通年
 - ・定例会（月1回）



かさま安心サポート事業について

見守りや入院入所時の債務保証、死後事務等をサポートします。
頼れる親族等がない65歳以上の高齢者に対し、相談支援、入院時における身元保証機能の提供及び入院により実行できない必要不可欠な生活上の支援並びに死後の処遇に関する支援等を行います。ご利用には、預託金・その他費用がかかります。



サービス内容は？

- 1 見守り等支援
- 2 入院時身元保証支援
- 3 入退院時生活支援
- 4 死後事務支援

かさま安心サポートセンター（笠間市社会福祉協議会内）

受付時間：月～金（祝・年末年始を除く）8:30～17:15

本所 TEL 0296-77-0730 | 笠間支所 TEL 0296-73-0084 | 岩間支所 TEL 0299-45-7889

資料展「戦後80年～つなぐ想い～」



戦後80年を迎えるにあたり、戦争の悲惨な記憶を風化させることなく、後世に平和の尊さを語り継いでいくため、笠間市における戦時中の生活の様子や筑波海軍航空隊に関する史料を、市内外の11名の方から162点の史料や遺品をお預かりし、令和7年8月5日～15日まで、笠間公民館で展示しました。民生委員・児童委員は毎年、市戦没者追悼式に参列しています。



我楽展

9月30日～10月12日
友部地区 3年に1度開催

我楽展は、民生委員・児童委員同士の親睦を図るために趣味を発表する場として約20年前に始まり、今回で6回目です。絵画や手作りの品物と力作が揃いました。市民の皆様にも喜んでいただけて楽しい「我楽展」となりました。（会場 友部図書館）



退任された民生委員・児童委員

地域福祉活動に尽くされました。心から感謝申し上げます。お疲れ様でした。また、引き続き地域福祉の増進にご支援下さいますよう、お願い申し上げます。ありがとうございます。

- 友部小学校区
 - 友部豊年 福田紀子
 - 多川英久雄 井坂フヂエ
 - 染谷邦子*令和5年11月末日退任
- 友部第二小学校区
 - 阿部幸雄 阿久津英治
- 北川根小学校区
 - 光又宏子 箱田素子
- 大原小学校区
 - 長谷川潔司
- 主任児童委員
 - 山口正俊 市毛正明
- 戸小学校区
 - 岩田幸雄

退任にあたって

友部地区 前副会長 阿部 幸雄
この度3年に1度の一斉改選を機に私達12名が退任することになりました。
私も29年間、民生委員・児童委員

*令和7年4月物故
謹んで哀悼の意を表します

として悩みや心配ごとの相談や福祉に関する問題等があった時には、福祉行政とのパイプ役として活動する事が出来ました。その度に関係機関の皆様と委員の方々に御指導および御支援を頂きました。心より感謝申し上げます。

最後に、笠間市民生委員児童委員協議会のますますの発展と委員皆様の御健康と御多幸を心より御祈念を申し上げます。

高齢者の変化に気付いたら

- step1 【声かけ】
高齢者に声をかける
- step2 【事実確認】
何があったか、事実を確認する
- step3 【つなぐ】
消費生活センターや行政機関への相談を勧める

相談窓口

場所 地域交流センターともへーTomoa内
笠間市友部駅前1番10号
(友部駅南口隣接)
電話 0296(77)1313
(直通)
受付時間 午前9時～正午
午後1時～午後4時
休日 第2・第4火曜日・日曜日
及びTomoa休館日・祝日、年末年始

全国共通ダイヤル 188
消費者ホットライン

悪質商法等の被害相談窓口です。直接、市町村の消費生活センターにつながります。「おかしいな」と思ったら、すぐに電話で相談しましょう。

笠間市役所 各問い合わせ先

- 民生委員について
社会福祉課
☎77-1101(内線157)
- 子どもについて
子ども・子育て支援について
子ども福祉課
☎77-1101(内線165)
- 妊娠から子育て期の相談
子ども政策課
☎78-3155(直通)
- 家庭児童相談室
☎70-5411(直通)
- 成長や発達について
子ども育成支援センター
☎73-4721(直通)
- 高齢者について
○高齢者の見守り支援など
高齢福祉課
☎77-1101(内線175)
- 総合相談・支援、権利擁護など
地域包括支援センター
☎78-5871(直通)
- 障がいにより生活のしづらさを感ずる方・お手伝いの必要な方
基幹相談支援センター
☎73-5080(直通)

地域の昔話で育む郷土愛

岩間地区 川崎 史子

『昔、この村にはな、胴切り地蔵という地蔵様が畑の真ん中に立っていたな、村のもめ事を解決してくれていたんだと』こんな口語から始まる地域に残る昔話。子どもたちを集めては囲炉裏端でおいちゃんおばあちゃんがこの村の成り立ちや出来事をおもしろおかしく話してくれました。今ではそんなほのぼのとした風景は見られませんが、ちなみに、この「胴切り地蔵」は、今でも愛宕山の麓、泉地区仲村の畑の中にひっそりと佇んでいます。今では知る人も少なくなりました。

幸いなことに笠間市には多くの伝説話が冊子になって残っています。岩間地区には大きな画面の紙芝居も十二話ほど作られています。地域の歴史や神社、お寺の謂れが分かり易く描かれていたり、狐や狸に化かされた話、化け物が出た話、酒沼川

今生の終の白靴下ろしけり 伊藤 邦夫
薄氷の考へながら流れゆく 村上 咲
敬老日おかめひよつとこ阿波おどり 笹嶋 武
コスモスや吾に老視の処方箋 とのおかいさむ
早乙女の豊穰祈願赤澤 昭二
物置は代々住みか燕来る 清



ほっとひといき

沿いの河童の話とその内容は多彩です。この貴重な昔話を子どもたちに伝えたいと、小学校やこども園、保育園、学童保育等を訪ねて読み聞かせをしています。子どもたちは真剣なまなざしで聞いてくれます。私たちはそんな子どもたちから元氣をもらって日々の練習の励みとしています。

最近、この昔話の場所を詳しく記した地図を作り、家族や地域の仲間と巡ってほしいと、笠間市の公共施設に置いていただいています。興味のある方は是非手に取ってウォーキングがてら近所の身近な歴史に触れてみてはいかがでしょうか。意外な発見があるかもしれません。

地域の歴史を学ぶことは郷土を愛する心を育てるといわれます。この豊かな自然と歴史ある故里を後世に繋ぐため、微力ながら老体に鞭打ち、「むかし話婆ちゃん」として地域の人たちとの触れ合いを楽しんでいます。

区長との情報交換会

毎年、地震や風水害による被害が各地で発生しています。大規模な災害が発生した場合、自分の身は自分で守る「自助」が基本となりますが、地域住民による支援「共助」も重要となります。

地域の現状や問題点を共有し、また連携を図ることで要支援者対策をより明確に位置づけるとともに、要支援者の生命・身体を守るため、的確な避難支援体制の整備を図り、地域の安心・安全体制を強化する目的があります。

災害の無いことが一番ですが、万一に備え定期的に情報交換を行い、地域で支えあえる体制作りに取り組んで行きたいものです。



退任挨拶



前笠間市連合民児協会長 井坂 フヂエ

平成7年12月1日民生委員・児童委員の委嘱を受けてから30年間務め、この度退任となりました。地域の皆様の「ありがとう」という言葉に励まされて務めさせていただきました。福祉分野では、様々な施策が整ってききましたが、同時に困難な課題もでてきております。

私ひとりでは解決が困難な問題に悩んでいる時、手助けしていただいた各行政機関の皆様、一緒に考えていただいた民生委員仲間、信頼して応援してくださいました地域の皆様、感謝申し上げます。任期中に出会った多くの人達との絆が私の人生の宝物です。

今後の民児協の益々のご活躍をご祈念申し上げます。退任のご挨拶といたします。

あとがき

「ぬくもり」第20号をお届けいたします。

民児協一斉改選後、新任委員とともに、住民の安全安心を守るため地域での活動を開始しております。これからも愛される紙面づくりに努めてまいりますので、ご指導ご協力よろしくお願いたします。

広報委員会

委員長 菅井 清人
副委員長 枝川 良雄
海老澤 聡

委員 新名 光枝
額田 高志
椎名 芳男
横木 守

委員 寺門 常康
仲野よし子
箱田しげ子
矢口はる美
鈴木 拓夫

旧委員
【委員長】市川 芳一【副委員長】飯村 正子・小菅 栄子【委員】羽根田すみ子・郡司 正一・高田 眞弓・打越 久勝・畠山 好文・大久保きよ子